

## 【水の里の旅コンテスト 2020 応募企画】

### 【学生部門】

比治山大学観光振興ゼミ 3年

『島地川の水源地域で心躍る 元気はつらつ！ ツアー ～遊び・食・交流を通して 活力みなぎる「人と水の物語」～』

（観光地域：山口県 周南市）

<b>【日程】</b>	1泊2日		
<b>【実施時期】</b>	夏（実施時期：7月）		
<b>【催行人員】</b>	親子10組20名 （最少催行人員：6組12名）	<b>【お勧めする旅行者層】</b>	和田地区内の小学生とその保護者（5組） 和田地区外の小学生とその保護者（5組）
<b>【旅行代金】</b>	親子1組 （弁当価格の幅により） 約16,000円～18,760円	<b>【内 訳】</b>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通費（マイクロバス借り上げ）大人7,000円、子供3,500円</li> <li>・食費 1,160円～1,760円 （天空カフェ600円 or 1,200円、和田のなんてんや弁当～1,430円）</li> <li>・その他 1,500円程度（カレー材料代、朝食パン代等）</li> </ul> <p style="text-align: center;">*キャンプ場使用料、ダム湖体験料は無料</p>	
<b>【企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント）】</b>			
<p>2020年の今年、我が国だけでなく世界中において新型コロナ感染拡大により、私達は「日常」と思えたそれまでの暮らしを大きく転換せざるを得ない事態に遭遇している。長引いた「自粛」生活の中から、それぞれが「新しい生活様式」にどのように適応すべきか模索・挑戦が始まっている。近年の度重なる自然災害もまた人々を緊張下に追い込んでいるが、再び前を向いて生きる多くの姿に勇気付けられたりもする。今人々に必要なのは「心身ともに元気になるための活力を得る」ことではないか。</p> <p>そのような現状において、今回私達が当企画で選定した地域は、島地川ダム（佐波川水系島地川上流部）の水源地域である山口県周南市和田地区と鹿野地区（流域の1部を含む）である。両地区ともに古くから「水」との繋がりが深く、「水」は豊かで潤いのある生活・自然環境を形成し、次世代に残したい歴史・文化・風土を守る大切な資源となっている。島地川上流域の水源地域から下流域へと辿る当企画立案のポイントは以下2点である。</p>			
<p>1) 1点目は、水源地域における「水」関連資源から「コロナ禍で求められる活力」を得ようと企画立案した点である。私達は企画立案する際にまず「活力とは何か」について検討し以下3つに整理した。その上で魅力的な「水」関連資源を振り充てていった。</p> <p><b>①豊かな自然環境から得られる非日常的なリフレッシュ感・解放感と適度な運動・アクティビティ</b></p> <p>→島地川及び島地川ダムの存在は、水源地域の自然環境をととても豊かにしている。ダム周辺には山間渓谷美を誇る高瀬峡や新平ヶ原キャンプ場があり、四季折々の自然を満喫することができる。参加者には、島地川ダム内部探検、高瀬湖（ダム湖）でのカヤック・巡視船パトロール体験、新平ヶ原キャンプ場での水生生物との触れ合い・川遊び、キャンプ、ホテル・星空観賞、高瀬峡散策等の体験を通して、水資源が創造する自然環境から活力を得てほしい。「水」を知り感じることができ、同時に生命の大切さについても学ぶことができるなど、コンテンツ満載である。</p> <p><b>②非日常的でワクワク感のある健康食グルメ</b></p> <p>→水源地域である和田地区・鹿野地区には多くの「水」資源関連の特産品がある。高瀬こんにやく、わさび、高瀬茶、鹿野高原豚、豊富な地元産食材によるダムカレー。特にこんにやく作り、わさび・お茶栽培には豊かで清らかな水は欠かせない。これらは子供にとって日常的食材ではないだけに、改めて水源地域の「水」の恩恵を知る機会となるだろう。元祖島地川ダムカレーを再現することも子供達はワクワクするに違いない。特産品以外にも周南市和田地区には、藤井牧場のジェラートなど隠れたグルメもある。「食べることは生きていくために必要な栄養素を摂取するだけではなく、幸せな気持ち・楽しい気持ちにさせる。誰かと会話しながら食べるとさらに美味しく満足感に繋がる。それもまた当企画の醍醐味になること間違いない。</p> <p><b>③人との交流、体験・文化に触れることで得られる前向きで楽しい気持ち</b></p> <p>→観光の最大の楽しさはそこで出会う人との交流であり、そこでしか味わえない体験・文化に触れることである。魅力的な地域資源を深く知っている現地関係者から学びながら、実際見て回り体験することで満足度は高まる。島地川ダム見学時はダム関係者に、キャンプ（水生生物調査、ホテル・星空観賞）では地元講師や地元親子が先生役。和田地区散策では地元親子がガイド役となり、地元中学生による三作神楽の披露、地元の誇りである故津田恒美選手の説明も任せたい。和田地区の国指定文化財三作神楽はそもそも五穀豊穡と疫病退散への祈願が始まりである。津田選手は生前ケガを繰り返しながらも闘志むき出しに敢然と立ち向かう姿は「炎のストッパー」と呼ばれた。座右の銘は「弱気は最大の敵」だったという。話を聞けば必ずや勇気と活力が湧いてくるだろう。</p>			
<p>2) 2点目は、水源地域の現地親子を参加者として加え、現地外親子との交流ツアーとした点である。コロナ禍においてインバウンドは当面望めず、まずは「近場観光」（マイクロツーリズム）からと言われている。このことは「地元（周辺）地域の魅力再発見」に他ならない。そこで私達はまず「和田の里づくり推進協議会」へのヒアリングを通して地元の活性化ビジョンを理解し、水源地域の地域づくりに貢献すべく地域の活性化方針にも沿えるよう工夫に努めた。水源地域和田地区は人口減少・過疎高齢化が進む中山間地域であるが「福祉のまちづくり」よりは「学校を中心とした地域づくりを」との強い意向がある。子供たちが幼少時から地域の中で郷土愛を育むことこそ、成長しても地域に対する興味関心が薄れること無く持続的な地域づくりに繋がること。子供達が地元の良さや魅力に気付くには、他地域と交流する機会が効果的と考えた。なぜなら他地域からの評価によって、改めて他地域とは違った地</p>			

元の魅力に気付き、関心が高まりやすくなるからである。他地域の参加者に地元の魅力を直接伝えて共有できることも大きな達成感と地元への誇りに繋がる。また一方では、他地域の子供達にとっても近隣地域の刺激的な魅力に触れ合う機会となる。幼少時よりこうした継続的な関係性が構築できれば、他地域からの訪問者は地元と一緒に地元の「裏方」を支える人材となり得るかもしれない。まさに「関係人口」づくりである。当企画ではそうした地域の意向を踏まえ、子供を主役とした地域内外の親子交流ツアーとした。全ての行程を地域内外の子供とその保護者が共にし、共に学び・遊び・驚き・楽しむ。子供達の感性が育まれる過程を水源地域の地元関係者が温かく見守りサポートをする企画である。どのような関係性が生まれるか期待したい。

企画タイトルは「島地川の水源地域で心躍る 元気はつらつ! ツアー～遊び・食・交流を通して活力みなぎる「人と水の物語」～。このコロナ禍において心身ともに「自粛」状態が続いた今だからこそ、「活力」を得にこれまで見えなかった地元（近場）の地域の魅力を探しに行こう！気が付けば地元（近場）は豊かな「水」の恩恵をいっぱいを受けた様々な資源溢れる、まさに「水源の暮らし」そのもの。その魅力を自分の言葉で伝えよう！そして一方では近場に存在する魅力とそれを大切に育てている人々に触れ、地域を超えた人と繋がっていきこう！その過程こそが地域の未来を担う「人」を育て、継承に繋がる「人と水の物語」となる。これが私達企画者からのメッセージである。

【安全確保のための配慮】	【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】
①催行に際し、国内旅行傷害保険（任意）の加入を勧める ②行程に関わる散策・見学・体験はすべて現場・地元関係者による監視及びガイド付きである。 ③ダム湖での体験時には事前説明を徹底し、ライフジャケット着用を確認する。 ④行程に関わる行動についてコロナ感染予防対策を講じる。 とりわけ感染リスクが高いと指摘されているバーベキュー時のコロナ対策には万全を期す。 （体調管理（検温・手洗等）、参加者全員マイ箸・マイ皿・マイコップ、飲み食べ時以外はマスク着用、グリルを取り囲まず大声を控える等）	①行程は島地川ダムを挟んで上流域（鹿野地区）から下流域（和田地区から周南市へ）へと下るものとし、子ども目線でも「水の豊かさが作り出す光景の変化」が分かりやすい。 ②地元開催イベントに合流し合同キャンプをすることで、水源地域内外の親子が交流し親密感が生まれるだけでなく、ホタルや星空などの「今だけ（季節限定）」の魅力に触れることができる。 ③子供達は水生生物調査を通して、生物保護の大切さなどを学ぶこともできる。 ④元祖島地川ダムカレーを参加者で復活再現し食することで、島地川ダムの特徴に理解を深めることができる。 ⑤ホタル・星空観賞は参加者にとっては「今だけ（季節限定）」非日常的体験となる。 ⑥地元関係者の解説によるスリリングな島地川ダム内探検と高瀬湖（ダム湖）体験をすることで、ダムの機能と役割を理解することができる。アクティビティはカヌーと巡視船パトロール体験をいずれかを選択可能。ダムカードも記念にプレゼント。 ⑦参加者全員で桜の記念植樹をすることで、忘れられない思い出をつくとともに、樹の成長を楽しみに参加者が継続的にダム訪問のリピーターになってもらえる。 ⑧和田地区内探索では地元中学生による「ここだけ（地域）」の伝統的神楽披露、津田選手などの地域の魅力に触れることができる。 ⑨当企画は総じて、水源地域の理解と支援を頂いた「今だけ」「君だけ」「ここだけ」が揃う企画である。

【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
①島地川ダム管理支所（国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所）	島地川ダムの解説ガイド	⑤周南市立和田小学校・中学校 PTA（かかしの会）	参加者募集・和田地区のガイド
②山口県周南市役所観光交流課	「森と湖に親しむ集い」開催	⑥和田地区三作神楽保存会	三作神楽の解説と披露
③和田の里づくり推進協議会	和田地区の解説ガイド	⑦道の駅「ソレーネ周南」	産物やグルメの解説
④周南市和田市民センター	和田地区の解説ガイド	⑧つばめ交通（株）	情報提供・資料提供

【特記事項】	1) 島地川ダムを選択した理由 【企画主旨】でも記載したように、当企画はコロナ禍における地域再発見の旅である。参加者が単に地域の魅力を見学・体験するだけではなく、受け皿である地域の一定効果を考えれば、前提として地域活性化への明確なビジョンの存在と組織体制、意識が無くてはならない。島地川ダムの水源地域である和田地区は「和田の里づくり推進協議会」という自治組織を中心に、高齢化が進む中でも地域コミュニティに活気が溢れ、集客力のあるイベントを実施する力を維持している。「島地川ダム管理支所」「島地川ダム周辺環境整備地区管理協議会」「和田農産物加工所」「和田小中学校」「周南市」との連携も見られ、島地川ダムを水源地域の資源の1つとして位置付けた地域活性化行動計画である「水源地域ビジョン」の改定も行っていると伺った。最近では40歳代の活躍も見られるという。水源地域の活性化策を意図とした企画には実現性のある適した地域であると判断した。
--------	---

<p>【特記事項】</p>	<p>2) 水源地域における新たな連携創出への期待</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域である和田地区と鹿野地区は、共に島地川の上流域で隣接し、島地川ダムを挟んで上流・下流部に位置しながらも、以前は行政区域の違いと道が悪く分断されていた等から特段の繋がりが無いと伺った。当企画は鹿野地区からスタートし和田地区へ、河口口の周南市市街地へ下るルートであり、水源地域としての一体感を作り出す連携のきっかけとなればと期待している。</li> <li>・「森と湖に親しむ集い」ではこれまで地元親子のみが参加している。当企画では参加者である他地域親子も合流させることで参加者の拡大を期待した。</li> <li>・島地川ダムでは、これまでも継続して一般者向けのダム見学を実施しているが、実際には移動手段の確保や、交通アクセスが悪く、地元小中学生が来訪する機会は少なく学校行事としては限界があると伺った。当企画ではそうした年代の子供達に来訪の機会となる。</li> </ul> <p>3) 商品化への期待</p> <p>当企画は私達学生が、多くの関係団体からの情報・資料・アドバイス等頂いて実施した現地調査を踏まえて企画立案したものであるが、商品化の実現にはハードルが多く難しさを感じている。よって今後は当大学主催の公開講座として実現できるか模索していきたい。</p>
<p>【催行実績】</p>	<p>無</p>



【 行 程 表 】

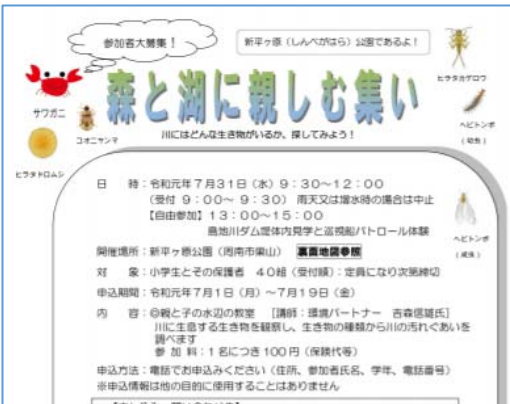
<p>1 日 目</p>	<p>【9:30】 徳山駅にて集合（和田地区内外全参加者） → 上流域鹿野地区「天空カフェ」で昼食（ランチボックス）・展望散策 → 【13:30~16:30】 新平ヶ原公園キャンプ場で「森と湖に親しむ集い」（水生生物との触れ合い・川遊び等）に合流・参加 → 【16:30~】 同公園キャンプ場で「元祖島地川ダムカレー」づくりに挑戦 → 夕食・ホテル観賞・星空観賞</p>
<p>2 日 目</p>	<p>【7:30】 同公園キャンプ場で朝食（地元鹿野地区のパン屋から調達） → 【9:00~12:00】 島地川ダム内見学・ダム湖（高瀬湖）でのアクティビティ（カヤック or ダム湖巡視船パトロール体験選択） → 【12:00~13:00】 下流域和田地区のなんてん屋から弁当をテイクアウト、ダム湖岸で桜の記念植樹 【13:00~16:30】 下流域和田地区で散策（高瀬峡・金剛水・津田恒美選手・地元中学生による三作神楽の披露） 【17:00~17:30】 道の駅【ソレーネ周南】で休憩（和田地区藤井牧場のソフトクリーム・お土産・グルメなど） → 徳山駅にて解散</p>

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

【長野山緑地公園展望台】	【 天空カフェの地元産ランチ 】	【 新平ヶ原公園キャンプ場 】
		
<p>上下引用) <a href="https://www.city.shunan.lg.jp/site/kanko/17545.html">https://www.city.shunan.lg.jp/site/kanko/17545.html</a></p> <p>島地川ダムの水源地域である周南市鹿野地区で最も高い山がこの長野山（標高 1,015m）。山頂 70 ha に及ぶ丘陵からは、広大な山々と天気が良ければ瀬戸内海を一望することができる。展望台周辺にはブナの原生林やササユリの原生地などの自然が溢れ、散策すれば心も身体もリフレッシュするのでお勧めである。木には降水の貯留・洪水防止など水を守る働きがあり、綺麗で美味しい水を育むためには、水質浄化機能を持つ森林土壌が必要である。上流域の自然環境は水を綺麗にする上で大切だ。緑地公園の遊歩道を下ると、長野山を源とする「赤滝」を発見。秋になると紅葉が水面に映え、岩肌が赤く輝いて見えることからそう呼ばれている。</p>	<p>長野山山頂付近の長野山緑地公園内にあるその名も「天空カフェ」。手作りウッドデッキを増設し設けたテラス席もある。大自然を満喫しながら地元のお母さん達の手作り料理を味わうことができる。お勧めは、まずは「長野山定食」(1,200 円)。鹿野地区の美味しい水を使用して作った高瀬こんにやくのお刺身、鹿野フォームの豚肉、その他野菜も漬物も全て鹿野地区産。品数の多さに感動するがそれでいてヘルシー。そしてもう1つがおむすびセットの「天空のバスケット」(600 円)。特産のわさびの葉で巻かれたおむすびが珍しい。高瀬こんにやくは瑞々しくて美味しかった。こんにやくもわさびも綺麗な水がなにより必要である。水源地域であるが故の水の有難さを食事から感じる事ができた。</p>	<p>鹿野地区内で島地川ダム周辺環境整備地区協議会が管理している「新平ヶ原公園キャンプ場」。ダム建設時に高瀬湖（ダム湖）上流部に整備された、川遊びや昆虫採集など自然を満喫できるオートキャンプ場である。無料かつ年中無休で開設されていて、トイレ・水道も備わっているなど管理の行き届いた点からも、子どもも安心して遊べるため、親子連れや子ども会、若者グループなど様々な年齢層が訪れ、夏には大勢のキャンプ客で賑わう。多い時には車が 200 台来るほどの人気があると伺った。管理支所実施のアンケートでは「満足度」は 8 割に達しているという。高瀬湖で釣れたニジマスやサツキマス、ワカサギなどの小魚を焼いて食べることもできる。</p>



【森と湖に親しむ集い】



上下提供)島地川ダム管理支所

【水生生物との触れ合い】



上下提供)島地川ダム管理支所

【元祖島地川ダムカレー】



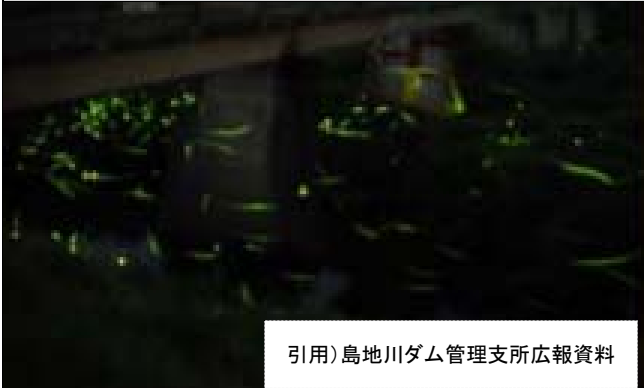
提供)島地川ダム管理支所

国交省・農水省は、毎年7月21日～31日を「森と湖に親しむ旬間」と定めイベントを中心とした様々な取り組みを全国で実施している。島地川ダム上流の新平ヶ原公園キャンプ場においてもこの期間中に「森と湖に親しむ集い」を開催している。主催は島地川ダム周辺環境整備地区管理協議会、共催は周南市・国土交通省山口河川国道事務所である。午前中2時間半の内容は、親と子の水辺教室(環境パートナーが講師)として、「川に生息する生き物を観察し、生き物の種類から川の汚れ具合を調べる」というもの。対象は小学生とその保護者で、令和元年では25組66名の参加者があった。今回の企画参加者はまず1日目にこのイベントに合流参加する。

新平ヶ原公園キャンプ場で開催される「森と湖に親しむ集い」。島地川の水生生物調査に挑戦。現在約3875種類の水生生物が確認されている。島地川ダム発行の「高瀬湖だより」によれば、「川底の石の下に住んでいる水生生物を採取して川の汚れ具合を調べる水辺の教室では、子供たちが冷たい水の中に手を入れ、はしゃぎながら元気いっぱい水生生物を捕まえていた」と報告されている。きれいな水に住む生物とされるサワガニ・ヘビトンボ・カワゲラ類が多かったことから「きれいな水」であることを皆で納得したとのこと。「この虫は何?」と保護者や講師に尋ねたり、日陰のテント内で談話する体験も児童にとっては刺激的に違いない。島地川ダムでは当イベントのためにアマゴの稚魚を放流することもあるらしい。

元祖「島地川ダムカレー」は島地川ダムを地域振興に活かすため、和田の里づくり推進協議会・TEAM367によって計画・施工されたもの。初めて販売された「クイーン祭」というイベントでは、3時間ほどで限定50食が完売する人気ぶりだった。地元産ホウレンソウご飯でダム堤体を見立て、上流側にカレーで貯水池を作り、下流側は肉やニンジンなどの具材で賑やかに盛る。旬のタケノコで天端道路、カラフルなパプリカで導流壁を表現。特徴である4つのオリフェスゲートにはリング状の菓子が使われていて子どもにも嬉しく、大人から子どもまで楽しめる優しい味付けとなっている。島地川ダムの特徴を地元産食材でうまく使い表現した、見て楽しい、食べて美味しいものとなっている。参加者皆でこのカレー作りに挑戦する。

【ホテル・星空観賞】



引用)島地川ダム管理支所広報資料

【子たぬきのパン】

引用) <https://kotanukinopan.wixsite.com/kotanukinopan/blank>



【島地川ダム】



上引用)島地川ダム管理支所資料



島地川ダムの上流に位置する新平ヶ原公園キャンプ場。周南市北部の自然豊かな美しい渓谷が繋がる山間部にある。そのため夜は外灯がほとんど無いので大変暗い。しかし夜に見える星がより一層輝いて見ることが出来る。キャンプと共に見る星空観察にはうってつけの場所になる。またキャンプ場横を流れる島地川上流付近では、周囲にゴミも無く綺麗な水や水が澄んでる事もあり、初夏にかけては飛び交うゲンジボタルの幻想的な光景を見ることも可能である。「自粛」から解放され、大自然の中で星空とホテルに出会えるかもしれない。新たな地域資源として情報発信が可能となる。

鹿野地区にある大きなたぬきが目印の「子たぬきのパン」。福岡市で「隠れ家のごちそうカレー屋アジア工房」をしていた店主が、美味しい水と空気を求めてUターン開業した。山口県産の小麦粉と鹿野地区の食材を活用し、天然酵母で美味しさを引き出したパンが並ぶ。原材料だけでなくパンを焼く燃料も地産地消しているとのこと。ご飯のような存在、お母さんの味噌汁のようなそんなパン作りを目指しているという。森の丸太食パン(1,000円)や子たぬきのおへそパン(400円)、季節のパン(130円から)など品数が豊富である。子ども達が朝食に頂く時間は楽しくなること間違いなし。

島地川ダムは、1981年に山口県周南市(旧新南陽市)の一级水系佐波川水系島地川本川に竣工された多目的重力式コンクリートダム。提高89m・堤体積317,000m<sup>3</sup>。特徴として①ダム本体施工に世界発のRCD工法(セメント量を少なくした超硬練りのコンクリートをブルドーザーで敷均し、振動ローラで締め固める工法で工期短縮・工費低減・安全性向上に)採用②ゲートレスダム③ダム天端道路が国道376号の3点。佐波川ダムの建設以降も頻発する洪水被害の低減と周南地域の水不足解消が果たされた。島地川ダムの貯水量は1,240万m<sup>3</sup>(25mプール23,000杯分)という。防府市や周南市へ送水される。



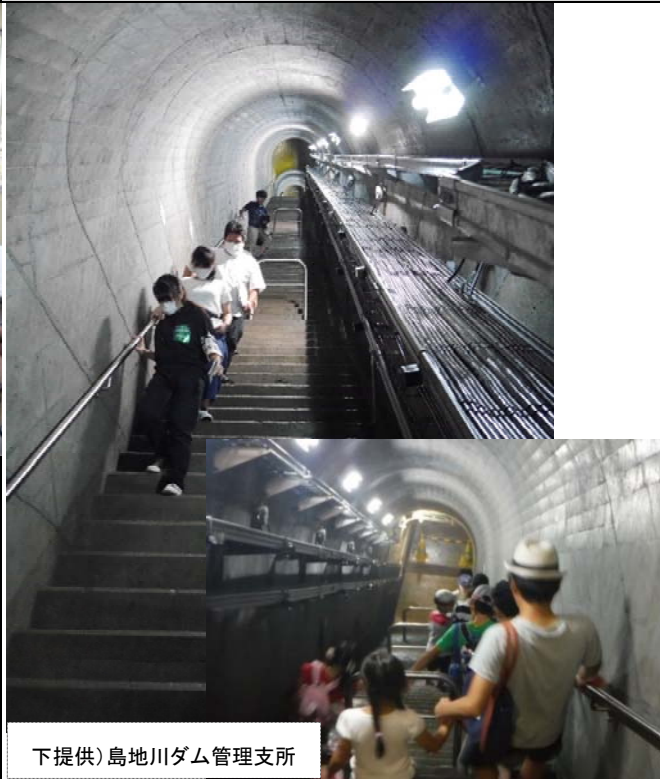
【島地川ダムについて学ぶ】



【島地川ダム内見学～操作室～】



【島地川ダム内探検】



下提供)島地川ダム管理支所

下提供)島地川ダム管理支所

島地川ダム管理支所では「島地川ダムの建設経緯・特徴・役割」について学ぶことができる。佐波川河川整備計画の中で島地川ダムがどのような位置付けであるか等、水源地域全体の話も丁寧に解説して下さった。コロナ禍の現状では、ダムカード配布や資料展示室開放は10月末(2020)迄禁止だが、通常は見学を随時受け付けている。管理支所長は、子供達に学んで欲しいこととして「ダムの役割・水の大切さ・環境保全」を挙げられた。水源地域和田地区の耕作放棄地栽培の農産物(さつまいも・里芋・コンニャクイモ等)をダム内部で貯蔵し、付加価値を高めてブランド化するというダム活用メニューはとても興味深い。和田小学校児童の「10年後の私へ」の手紙500人分も10年間眠っている！

島地川ダム管理支所内にある操作室。ダム関連の水資源を統括管理(洪水調節・利水・河川の環境保全)している。洪水調節は下流の水害を防ぎ、利水は工業・水道用水を供給し、河川の環境保全はダム下流への流水機能の正常維持のため必要流量を補給している。放水をする際は警報所からサイレンを鳴らし地域住民に知らせている。サイレン箇所は30ヶ所、カメラは10個。操作室ではこうした水源地域住民の安心安全な暮らしを守るための責任重大な業務を遂行している。水晶式水位計や水質データ処理装置等普段見ることができないダム調整機器を見ることができるのも魅力の1つ。最近の「島地川ダム水源地域にぎわい検討会」では、将来的には和田中学校生徒にダム見学者案内補助の協力を目指している。

島地川ダム堤体内にはエレベーターも設置されているが、ダム内管理用通路を通り、途中でゲート室、管理用発電機室、選択取水設備等に立ち寄って見学し、提高89mのダム直下までの急な階段を上り下りするのがやはりオススメ。階段幅も狭くて薄暗く、下りれば下りるほど気温も下がり、手すりには水滴が付きスリルもあり、自分自身の足でダム直下まで歩けば達成感は半端無い！これこそダム内探索の醍醐味である。ダム堤体内は常に12～13℃の一定温度で天然クーラーとのこと。管理支所長によれば、子供達が喜ぶのは堤体内の通路・階段が歩けること、夏は涼しく冬は暖かい堤体内の環境、ダム下流から見られるオリフィスゲートから越流する放水の迫力とのこと。

【高瀬湖(島地川ダム湖)】



【ダム湖でのカヤック・巡視船体験】



上下提供)島地川ダム管理支所

上提供)島地川ダム管理支所

島地川ダムの建設時に誕生した人工湖。総貯水容量20,600,000 m<sup>3</sup>、有効貯水容量19,600,000 m<sup>3</sup>。「高瀬湖」と命名された理由は、付近の大字名が「高瀬」、そしてダムの下流渓谷が「高瀬峡」と呼ばれていたからとのこと。どこまでも続く湖と山、そしてそれを包むような空が一面に広がり壮大で透明感のある光景を見ることが出来る。ダム湖外周に植樹された桜やモミジは季節を彩り見物者も多い。トノサマガエルやカワトンボ、カモやアジサイ等、様々な魚類・底生生物、植物、鳥類、両生類等も確認されている。湖岸道路ではサイクリングや犬の散歩、山菜採りを楽しむ姿も見られるらしい。また監視阻害となる伐採木の無償提供も実施している。

高瀬湖では湖面は自由利用。ダム湖岸道路から数か所に湖に降りることが出来るスロープが設けられているため、マリンスポーツやアクティビティが可能である。釣りやボート、また今年はパドルボートを持参して釣りをする姿やシーカヤックの利用客も見られたとのこと。春～秋にニジマス・サツキマス・冬場にはワカサギなどが釣れる。新ヶ原キャンプ場で開催される「親と子の水辺の教室」の最終プログラムでは、希望者に湖面巡視船体験を実施している。平時はダム高瀬湖を点検する際に運航される島地川ダム管理の巡視船を公開利用したアクティビティ。湖面から見るダム堤体に、風を切って湖面を走る爽快さに子供達も大喜びだ！

周南市和田小学校では卒業記念として、ダム湖岸に桜を植樹活動が平成9年より続いている。この活動は、児童自身の手で植樹することで地元の高瀬湖に関心や愛着を持たせることが目的であるという。児童が植えた桜は、観光資源になっている高瀬湖湖岸の桜の中に仲間入りし大きく育っている。島地川ダム発行の広報誌「高瀬湖だより」によれば、令和2年の今年3月、当活動は24回目を迎えた。桜1本とアジサイ3本を植樹。児童からは「記念植樹という和田小の歴史を受け継いで良かった」「卒業生の桜より立派に育って」との感想が寄せられたとある。当企画の記念植樹も子供達の記憶に残るものであればと期待したい。



【水源地域：周南市和田地区】



島地川ダムの水源地域である和田地区（面積 41.1 km<sup>2</sup>）。周南市住民基本台帳によれば人口 1,203 人、610 世帯、高齢化率 52%（2020 年 8 月 31 日現在）。人口減少・高齢化の傾向が見られるが、周南市中心部に位置し、都市近郊型の中山間地域（中山間地域の特徴を有する一方で、都市に隣接し通勤就業機会に比較的恵まれている地域）に位置付けられる。中央に流れる佐波川の支流島地川によって豊かな自然環境が形成された集落である。農林業が盛んで、特産品として霧がよく出るといふ特性を生かした高瀬茶や、その他にもこんにやくや高瀬味噌、和田丸太などがあげられる。また周南・和田の演劇グループが自主制作映画「高瀬茶に恋をした男...。」という特産の高瀬茶を使った映画も作っていると伺った。

【和田の里づくり推進協議会】



高齢化が進む和田地区において、活気ある地域コミュニティの中心的役割を担う「和田の里づくり推進協議会」。和田地区の地域活性化を目的に、それぞれの団体が集まって様々な意見を出し合い協力するために 35 年前に設立。現在 45 団体、約 80 名で構成されている。年間 6 回程の大規模イベント含め、20 回以上の地域行事を先導する。イベントの開催自体が日常的コミュニティ活動として定着している点に驚く。婚活イベント等も実施し、2 組のカップルが成立。広報活動も積極的に行っている。現地調査では周南市民センター職員・島地川ダム管理支所長も加わり、2 時間以上にわたり丁寧に情報提供して頂いた。和田地区にとって「水資源」とは「生きるための知識」と強調された。写真を撮る際のポーズは、「和田」の「W」。

【和田の里なんてんや弁当】



提供）和田の里なんてんや

和田小学校から約 500m 先に位置する、築 180 年程の古民家を活用した「和田の里なんてんや」。「庭の苔は雨が降ると美しい」と伺った（写真は店の玄関付近）。雰囲気のある和室から庭園や和田の美しい景色を見ながら、季節の食材を使った季節がわりの御膳が楽しめる。野菜や米は自家製・和田産とのこと。コロナ禍ではテイクアウト弁当（550 円）を準備し、和田市民センターで開催される小規模イベントや集会に出していたという。当企画での弁当（写真）は季節の彩り弁当（1,430 円）。チキンかつ、里芋、かぼちゃ、大根、しめじ、秋鮭、ひじきの煮物、高野豆腐の肉巻き、豆の煮物、マカロニサラダ、鶏団子甘酢あえ、りんご、ご飯。子供用に半量弁当も準備可能とのこと。

【高瀬峡】



島地川上流、島地川ダム下流部にあり、初夏にはフジや川ツツジ、秋には紅葉がみられるなど、季節によって様々な自然の美しい景色を見せてくれる高瀬峡。和田地区オススメの散策ルートの一つとしても紹介されている。高瀬峡の入口周辺の川は浅くて広く、奥に進むと生い茂った木々や大きな岩などで囲まれた川へと続く。全長 2.2km の自然遊歩道を散策すると、途中途中には赤石や宿り岩、夫婦滝といった特徴的な渓谷美が見られるのも魅力である。当企画では 2 日目の和田地区散策時に訪れたい。1 日目のキャンプ場～高瀬湖へと繋ぐ島地川の景観も楽しんでもらいたい。島地川ダムから放流された水で形成されていると考え、「水」の力を感じることができるだろう。

【金剛水】



霊泉「金剛水」は、高瀬湖を眼下に見渡せる千石岳（標高 630m）の東側中腹、高瀬から熊坂峠の方へのぼる鹿野・夜市線の道のすぐそばにコンコンと湧き出ている。この湧き水はどんなに日が照ろうと枯れることなく、どんなに大雨が降ろうと量が増えることもなく濁らず一定の水が出続けているという不思議な湧き水で有名である。水源が岩石の深い底から湧き出ているため水質が清冷で非常に美味しい水であることから、わざわざ汲みに来る人も多いと伺った。千石岳には八十八か所の霊場があり、この金剛水の少し上を見上げると水源近くに石仏（釈迦如来像）が安置されている。そこから地元の人たちはここを霊験（神仏の不思議で計り知れぬ力の現れ）として霊泉と呼ぶようになった。

【炎のストッパー：津田恒美選手】



「広島東洋カープ」で活躍した津田恒美選手。和田地区の出身で和田小中学校の卒業生。和田中学校敷地内に設置された「津田恒美先輩」と刻まれている碑には、1981 年に入団、史上初の新人王を獲得、何度球を打たれても闘志を燃やし、打者に真っ向から立ち向かう直球で勝負する姿から「炎のストッパー」と呼ばれ、脳腫瘍を患い 32 歳という若さでこの世を去ったとある。自らの精神的な弱さを克服するために「弱気は最大の敵」「一球入魂」の座右の銘を掲げて実行していた姿、中指の血行障害や脳腫瘍の病を抱えながらも明るく前向きに生きていた姿は、コロナ禍を生きる私たちに勇気を与え、前向きな明るい気持ちを抱かせるに違いない。



【国指定文化財：三作神楽】	【道の駅「ソレーネ周南」】	【朝しほりソフト titi 藤井牧場】
<p>上提供) 和田地区市民センター</p>  	 	
<p>和田地区に古くから伝承されている三作(みつくり)神楽。約 1300 年前、大飢饉による疫病が発生した苦難を乗り越えるべく五穀豊穡と疫病退散への祈願をしたところ、平和が戻ったそのお礼の奉納として行われてきた神楽だ。昭和 62 年に山口県の無形民俗文化財、平成 12 年に国の重要無形民俗文化財に指定された。三作神楽の「三作」は、林・原赤・中村の 3 自治会を指す。現在は三作全世帯を会員とした三作神楽保存会により地域に根付き継承されている。地区内の三作神楽伝承館で開催される「子ども神楽教室」活動を通して、笛や太鼓、舞を子供達に教えて伝統を繋げている。地元の小中学生も舞うことができることから、伝統文化である三作神楽を絶やさないと地元の思いも感じることができる。</p>	<p>当企画の最終地点は、徳山西 IC からすぐ、国道 2 号線沿いに位置する道の駅「ソレーネ周南」。周南市の西の玄関口として、道路利用者の休憩所、道路情報、観光情報、周南市のアップール、地域の振興・活性化につなげることを目的に 2014 年にオープンした。「ソレーネ」とは山口方言で「そうだね」の意味である。コンビニや売店が併設され、情報コーナーも含めて 24 時間営業の施設が複数ある珍しい道の駅として人気が高い。施設横を流れる夜市川(やじがわ)も穏やかで美しく癒される。車で 10 分も走れば、夜には周南コンビナートの夜景が見ることが出来る。島地川の水は、和田地区からの分水によって周南工業地域の工業用水として供給されている。周南市の主要産業である重化学工業企業を支えている。</p>	<p>道の駅「ソレーネ周南」内にある生産者直営のソフトクリームの小さなお店。周南市和田地区の藤井牧場のとれたて牛乳 100%で作るソフトクリームがウリである。定番の朝絞りミルク、高瀬茶の抹茶、抹茶とミルクのミックス、秋吉ファームガーデンのブルーベリーのソフトクリームから、甘酒やホットコーヒー、アイスコーヒーなどのドリンクもあり豊富な種類が嬉しい。中でもチョコかけソフトがパリパリで大人気！また、1 番小さい可愛いソフト(150 円)やコーン(260 円)、ワッフルコーン(310 円)、カップ(260 円)とボリュームもありながらお手頃価格で頂くことができる。子供達も保護者もツアーの締めくくりに、和田地区の美しい原風景を思い出してスイーツを楽しんでほしい。</p>
<p>【道の駅「ソレーネ周南」でのグルメ】</p>		
		
<p>道の駅「ソレーネ周南」内にある、野菜ソムリエが作る地元産野菜たっぷりの地産地消レストラン【ベーカリーキッチン「菜」】。鹿野高原豚のヨーグルト味噌焼きをメインに高瀬こんにゃくや周南野菜がついた、周南産食材で腸活できる「周南美腸定食(1,200 円)」、鉄鍋トマトみそハンバーグ定食(1,300 円)、鹿野高原豚のカツカレー(1,000 円)など。清らかな水が流れる山の麓で丹念に育てた周南市産のご飯と山口県の麦味噌文化を大切にしたいという味噌汁は食べ放題。またここに「島地川ダムカレー」もある。当企画のキャンプでつくる「元祖島地川ダムカレー」とは異なり、鹿野高原豚のソーセージで放流を、生クリームで水質浄化を表現するなど、地元産の梨果汁で甘く仕上げたカレー。両方頂くのも楽しい思い出になる。</p>		